工事説明書
床暖房リモコン
（2系統タイプ）

SHC800H②

■工事される方へのお願い
この工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行う。

お願い

- ●リモコンの取り付けが完了するまで、機器本体の電源プラグはコンセントに差し込まない。
- ●ネジ止めは必ず手締めで行い、リモコン（取付金具）ががたつかない程度に締め付ける。電気ドライバー、インパクトドライバー等、絶対に使用しない。締め付け過ぎるとリモコン（取付金具）が変形し不具合が発生する恐れがあります。
- ●リモコン（取付金具）は段差の無い壁面に取り付ける。段差がある壁面に取り付けるとリモコン（取付金具）が変形して、不具合が発生する恐れがあります。

■付属部品の確認

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
床暖房リモコン本体	機器により形状は異なります	1	皿小ネジ		4
			圧着端子		6
取付金具		1	皿木ネジ		2
			部屋シール		1
			取扱説明書		1

床暖房リモコン本体は分解しないで下さい。

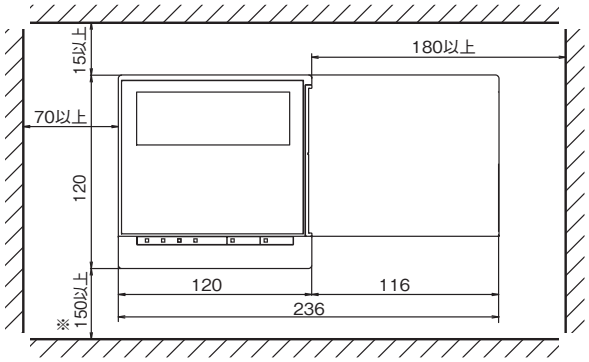
■ 設置前のご注意

- ●リモコンは2つの系統の中間位置に取り付けて下さい。（図1参照）
- ●下記の場所には取り付けないで下さい。

1. 温度の高くなるところ（ガスコンロ付近等）
2. 直射日光のあたるところ（窓際等）
3. 湯気のかかるところ（ガスコンロ、炊飯器等の付近）
4. 水しぶきのかかるところ（給湯栓付近等）
5. 油のかかるところ（ガスコンロ付近等）
6. 特殊薬品を使用するところ（ベンジン、油脂系の洗剤等）
7. 部屋が間仕切等で分割されているところ
8. リモコンのフタを開けた時に壁や間仕切り等にあたるところ
9. 他の機器（リモコン、インターホン等）の真上
（他の機器の熱の影響を受けセンサーが正常に作動しない恐れがあります）

床暖房リモコン取り付け作業手順

■リモコンの取り付け必要寸法　（単位：mm）



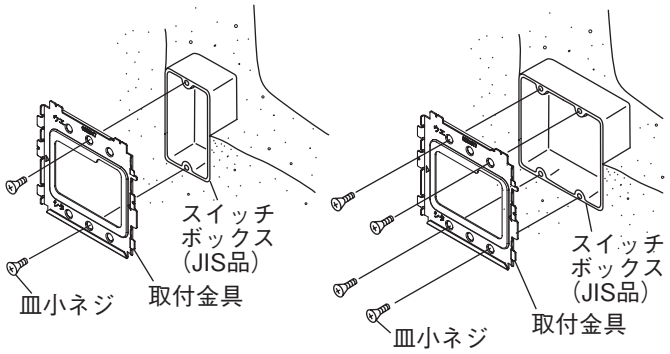
※他の機器（リモコン、インターホン等）からの熱の影響を受ける恐れがある為それらの機器の真上に床暖房リモコンは設置しない。

■取付金具の固定のしかた

※締付けすぎると取付金具が変形するおそれがありますので注意する。
※取り付け後は取付金具と壁にすき間がないことを確認する。
※ネジ止めは必ず手締めで行い、取付金具ががたつかない程度に締め付ける。

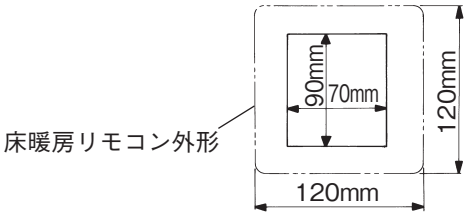
1.スイッチボックスに取付ける場合

<1個用スイッチボックスの場合>　<2個用スイッチボックスの場合>

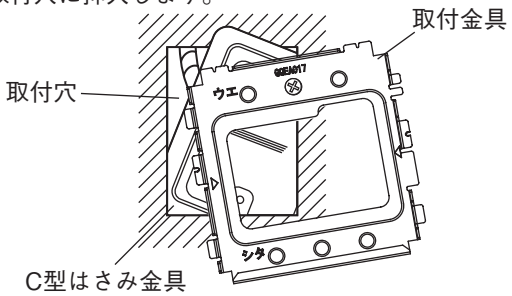


2.C型はさみ金具を用いた場合
適用壁厚---------12mm以下

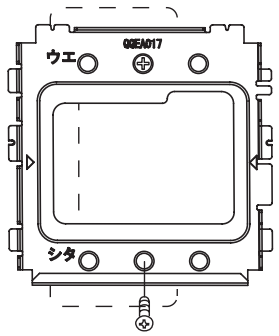
<壁の穴あけ寸法>



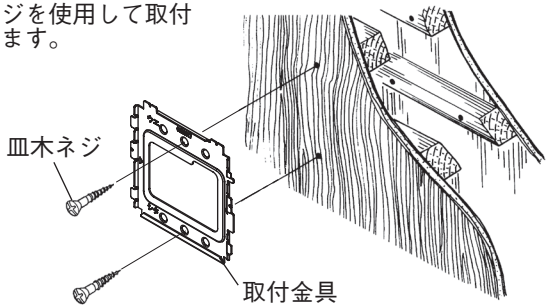
1）取付金具とC型はさみ金具の上部に皿小ネジを通した後順次はさみ金具を取付穴に挿入します。



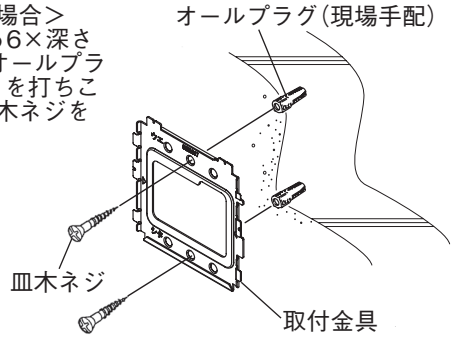
2）C型はさみ金具を取付穴に挿入後、取付金具下部穴に皿小ネジを挿入しC型はさみ金具を固定します。（挿入した皿小ネジにより取付金具は落下しませんので左右の位置を決めた後、上下共に締付ける）



3.壁に取付ける場合
<木質壁面の場合>
付属の皿木ネジを使用して取付金具を固定します。

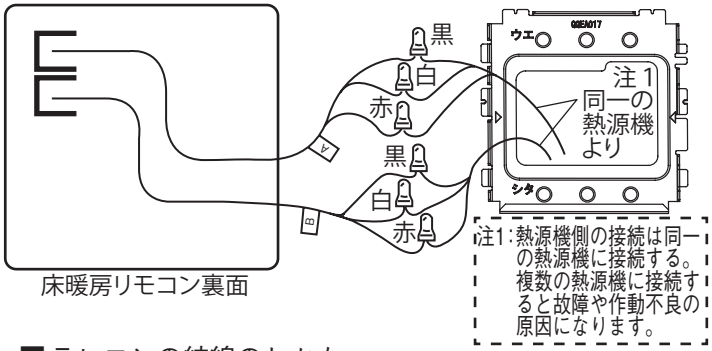


<コンクリート壁面の場合>
取付金具の固定用穴（φ6×深さ25～30mm）をあけ、オールプラグ（6x25mm：市販品）を打ちこみます。次に、付属の皿木ネジを使用して固定します。



■床暖房リモコンの結線のしかた

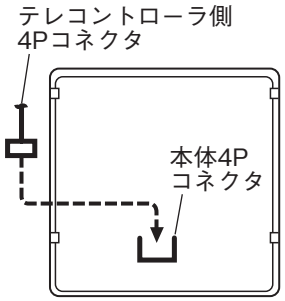
結線は本体背面より出た2組のリード線(赤、白、黒で1組とし、タグシートでA、Bの2組に分かれています)を、熱源機から出ている2組(6本)の接続線それぞれに、圧着端子で接続します。
(リード線は必ず2組共に接続して下さい)



■テレコンの結線のしかた

<テレコントローラ(市販品)と併用してご使用の場合>

取付穴より出ているテレコントロールシステムからの4Pコネクターを本体4Pコネクターに確実に接続して下さい。



注1)テレコントローラはJEMA(日本電機工業会)標準HA端子-A付のものをご使用下さい。

注2)JEMA以外のテレコントローラは接続出来ませんのでご注意下さい。

■床暖房リモコンの取り付けかた

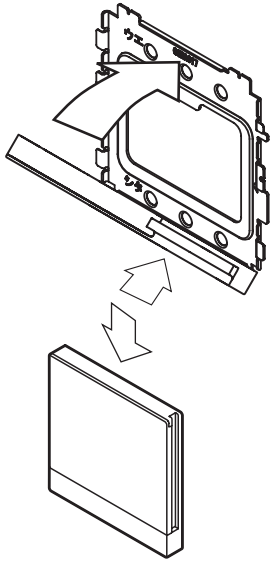
1.リード線を傷つけないよう注意します。リモコン背面の4カ所の爪部を、取付金具の爪部に合わせながらはめ込みます。
この時、リモコンの下部と取付金具の下部を合わせ、リモコンを壁側に倒すように取り付けます。

※加工くずが本体にはいらないよう注意して下さい。

2.最後にリモコンの四すみを取付金具に押しつけながら、下方にスライドさせてリモコンを取り付けます。

3.必要に応じて付属の部屋シールを貼り付けて下さい。また、使用しなかった部屋シールは、必ずお客様にお渡しください。

4.自動試運転が行えます。
くわしくは「自動試運転の方法」をごらん下さい。



注)リモコンを固定した後、かたむき、はずれなどがないことを確認下さい。

自動試運転を行います。
くわしくは自動試運転の方法をごらん下さい。

自動試運転の方法

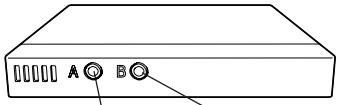
※オイル機器に接続している場合は、オイル機器の工事書に従って下さい。

■はじめに

- 本床暖房リモコンは、自動試運転機能付の機器に接続して下さい。
- 自動試運転時には、ジャック端子に必ず床温センサーを差し込んでから試運転スイッチを入れて下さい。
- 床温センサーの設置は、室内温度と著しく異なる場所を避けて下さい。
(直射日光の当たる場所、外気が直接床温センサーに直接当たる場所、部屋の隅など)

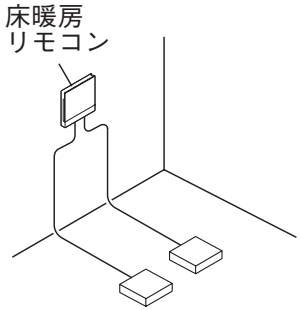
1.「床暖房リモコンの結線のしかた」により、結線されているか確認します。

2.床暖房リモコンのジャック端子に床温センサーを差し込んで下さい。



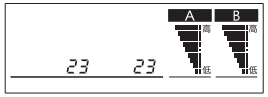
3.部屋の温度が安定している場所(部屋の中央部など)に床温センサーを置き(アルミ箔の面を下にします)機器基板上の「自動試運転スイッチ」を押し自動試運転を行って下さい。
(くわしくは、機器の工事説明書を参照下さい)

・試運転時の表示
試運転待機中 :温調2段表示
水張り中 :温調4段表示
暖房判定中 :温調6段表示

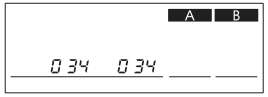


床温センサー(現場手配品)
※形状は一例です。

4.自動試運転終了後、温調表示部が全消灯の場合は異常を示し、全点灯の場合は正常を示します。
※オイル機器を接続している場合、液晶表示はありません。
・異常時には、表示部にエラー内容を示します。



正常の時(例)



異常の時(例)

表1:エラーコード一覧

エラーコード	エラー内容
314	室温異常
324	床温異常
034	誤配管判定
970	試運転50分エラー

※上記以外のエラーコードについては機器側のエラーとなります。

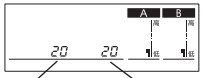
5.自動試運転終了後は、床温センサーをジャック端子から外して下さい。

※外す際は、斜めからコードを引っ張って抜かないで下さい。

■試運転中の液晶表示例

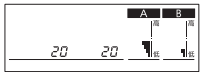
※試運転中はタイマーランプと運転ランプも点滅します。
※オイル機器に接続している場合、液晶表示はありません。

1.A試運転待機中

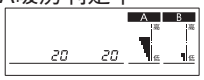


A床温センサー検出温度　B床温センサー検出温度

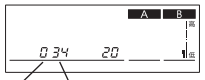
2.A水張り中



3.A暖房判定中

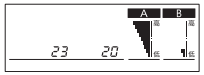


3.NG判定(例)



点滅　エラーコード
※エラーコードは表1参照

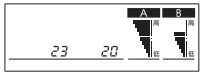
4.A判定OK



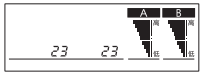
5.B試運転待機中

6.B水張り中

7.B暖房判定中



8.B判定OK



<室温サーモ付き>

■床暖房リモコンの取付位置

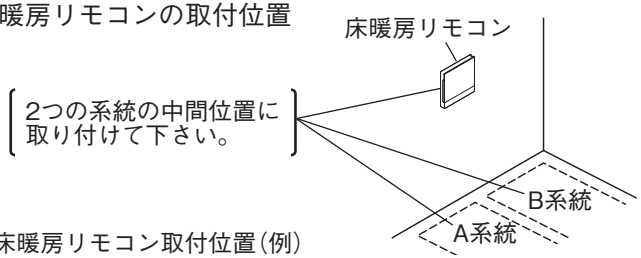


図1:床暖房リモコン取付位置(例)

■メンテナンスセレクト設定(下記以外の項目は設定変更しない)

※下表網掛け部は工場出荷時設定です。

1.「時計合わせ」と「確定」を<メンテナンスセレクト設定>が表示されるまで押し続ける。
2.「▲」または「▼」で項目を選択する。
3.「タイマー1合わせ」を押し、設定を変更する。
4.「運転」を押し、設定を確定する。
※1の操作または10分未操作で設定を確定せずに終了。

No	項目	設定値:内容			備考
1	試運転機能選択	on:あり	oF:なし		
2	温度補正	0:補正無	1:+補正	2:-補正	
3	マイコンメーター対策	on:あり	oF:なし		注1
4	HA系統切替	0:標準2系統	1:A系統	2:B系統	

注1:工場出荷時設定は機種により異なります。